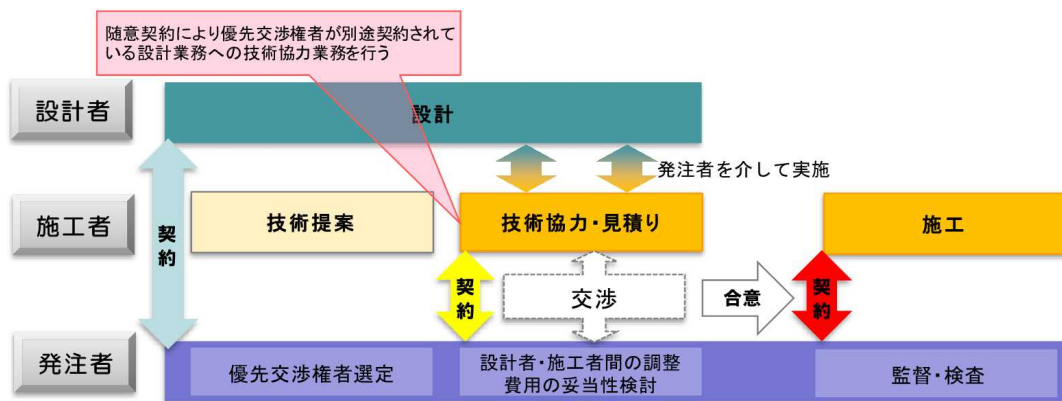


北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

投げ込み先	新潟県政・新県政記者クラブ 新潟日報社(村上支局) 村上新聞社 いわふね新聞社 NHK新潟(村上報道室) その他専門紙
取り扱い	配布後解禁

橋梁耐震補強で技術提案・交渉方式による工事発注 ～施工者独自のノウハウを設計段階から取り入れ円滑な施工が可能に～

羽越河川国道事務所では、今後発注を予定している「府屋大橋耐震補強工事(仮称)」において、「技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)」による発注を予定しています。本方式は、設計段階から施工者が関与することで、設計時に詳細仕様の確定が困難な工事に対応する方式です。本方式を採用することで、施工性等の観点から施工者の提案が行われることから、施工段階における設計変更(手戻り等)発生のリスクの減少などが期待できます。



※技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)とは？

- ・技術提案・交渉方式とは、現場条件等が特殊で当該工事の仕様の確定が困難である場合に技術提案を公募の上、その審査結果を踏まえて選定した者(以下、「優先交渉権者」と)と工法、価格等の交渉を行うことにより仕様を確定して契約する方式です。
- ・この方式のうち技術協力・施工タイプは、優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結します。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所

副所長(道路) 久保 光晶(くぼ みつあき) (内線205)

新潟県村上^{ふじさわ}市藤沢27-1
電話 0254-62-3211(代表)
FAX 0254-62-1106

事務所HP: <https://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>

Twitter: @mlit_uetsu

ホームページ



Twitter



技術提案・交渉方式の主なメリット

- ① 施工に関する技術(施工法・仮設など)が設計に反映されるため、設計成果の修正等の手戻りが少ない。
- ② 設計段階から施工者が技術提案するため、工法・材料など新技術の導入が促進される。
- ③ 設計と工事発注の手続きが同時に進行できるため、事業全体の工期短縮が可能。

工事及び技術協力業務の内容

国道7号の府屋大橋は、二級河川大川に架かる橋長136m、4径間の橋です。大川の流水部で行う橋脚補強工事は、出水期や漁期を避けた施工とするため、施工可能期間が1年間で約6ヶ月間に限定される。また、河床部の地盤は玉石が混入する他、桁下高も小さく、鋼矢板の打設が困難である他、河口に近いため冬期間は波浪の影響が大きいなどの施工条件となる。

このような現場条件に対応し、安全面にも十分配慮した仮設工法や施工方法の選定が必要となっている。

上記の制約条件を踏まえた設計を行うには、施工者独自の高度な技術力の活用が必要であるため、技術協力・施工タイプを適用し、耐震補強工事に関する技術提案を求めるものです。

◆案件名: 府屋大橋耐震補強工事及び府屋大橋耐震補強工事にかかる技術協力業務

◆工事場所: 新潟県村上市府屋地先^{ふや}

◆内容: ①府屋大橋耐震補強工事にかかる技術協力業務
工期) 契約締結の翌日～令和5年3月31日
内容) 耐震補強工事の仮設設計に関する技術協力、打合せ

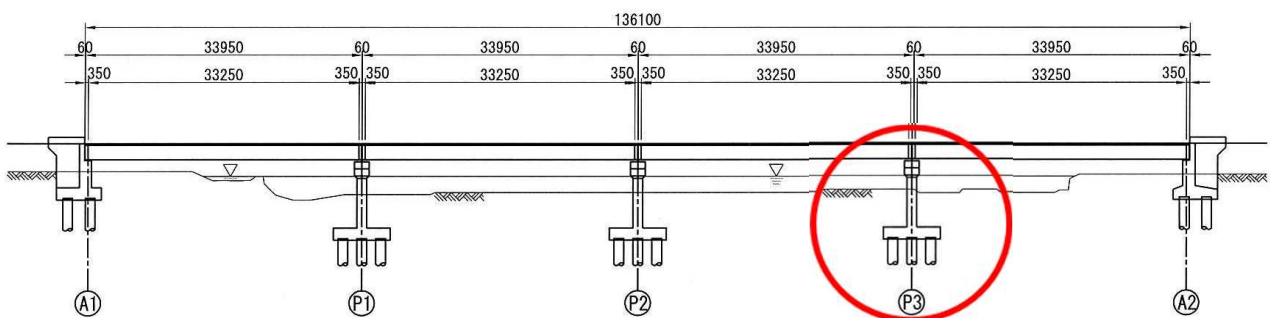
②府屋大橋耐震補強工事(仮称)
工期) 令和5年7月頃から令和7年6月頃までを予定
内容) P3橋脚耐震補強工、仮設工

府屋大橋の概要

位置図



側面図



本工事補強対象(P3)